

平成25年11月28日

久留米市長 榎 原 利 則 様

久留米市田主丸地域審議会
会 長 別 府 哲 英

新市建設計画並びに地域振興基金に関する今後の事業の進捗について（答申）

平成25年7月16日付25田地第253号で諮問のあった「新市建設計画並びに地域振興基金に関する今後の事業の進捗」について、当審議会において慎重に審議した結果、下記のとおり答申します。

記

1 新市建設計画に関すること

新市建設計画主要事業については、概ね着実に進捗していると認められるが、計画の最終年度が迫る中、合併協議を十分尊重しつつ、中間見直し後の実施計画について、確実な事業進捗を図られたい。

(1) 地域保健センター等複合施設整備事業

地域保健センターについては、主要事業の中間見直しにおいて廃止した歩行用プールとトレーニングルームの機能を補完するため、民間施設を活用した事業を実施しているが、更なる利用促進と健康づくり事業の充実に努められたい。

(2) 校区コミュニティ施設整備事業

消費税増税や物価上昇により建築単価の増嵩が見込まれる中、これまでに整備が完了した他の施設と同程度の施設整備は困難となるので、建築に関する事業費の増額を図られたい。

また、校区コミュニティセンターに太陽光設備を設置する際の支援についても検討されたい。

(3) 耳納山麓自然と歴史の森整備事業

耳納山麓自然と歴史の森整備事業については、事業完了が近づく中、国指定史跡となっている古墳の価値や歴史的背景等を積極的にPRすることにより、施設の有効利用や集客力の向上を図り、耳納北麓地域の活性化に努められたい。

また、整備にあたっては排水対策について、今後とも十分な措置を講じること。

2 地域振興基金に関すること

地域振興基金活用事業については平成 26 年度で終了となるが、旧田主丸町時代から取り組んできた事業も多く、その財源として基金を活用してきたところである。これらの事業は、継続的に実施していくことでその事業効果が発揮されるものであり、平成 27 年度以降も継続的な実施を検討されたい。

(1) 専門子育て相談事業

専門子育て相談事業は、定住促進の面からも効果が見込まれることから、これまでのデータや資料に基づいて分析・検証を行い、更なる継続について検討されたい。

(2) 校区コミュニティ組織支援事業

早期定着支援補助金は平成 26 年度で終了となるが、今後とも市民との協働を進めていく中で、組織の円滑な運営や活動の充実を図っていくためには、平成 27 年度以降も校区コミュニティ組織に対する支援が必要と思われるので、支援の継続について検討されたい。

平成25年11月28日

久留米市長 榎 原 利 則 様

久留米市田主丸地域審議会
会 長 別 府 哲 英

田主丸区域の振興に関することについて（提言）

地域審議会の設置に関する協議書第3条第2項の規定に基づき、田主丸区域の振興に関することについて、下記のとおり提言します。

記

1 地域審議会の解散後について

地域の均衡ある発展を進めていくためには、地域審議会が解散した後も、地域住民の声を施策に反映できるような仕組みが必要であるので、そのような体制づくりについて検討されたい。

2 今後の総合支所について

今後の総合支所機能については、住民生活に支障を来たさないよう的確かつ速やかに対応できるような組織づくりに努められたい。

3 道路整備について

道路整備については、住民生活に直結し、観光や特産振興に密接に関係することから、主要事業終了後も田主丸地域の道路整備計画に基づき、計画的な整備を推進されたい。

4 小学校施設の改修について

小学校施設については、主要事業において一定の整備は完了するが、今後とも児童の安全の確保を第一に、的確な対応を図られたい。

5 災害に強い耳納の山づくりについて

近年、大規模災害が発生する中、災害対策の面からも耳納山の整備については、全体の保水能力を高め、土砂災害を防止する等の機能を有した災害に強い山づくり、環境づくりを図られたい。

6 田主丸地域の活性化について

田主丸地域の活性化対策については、耳納山麓地帯、中央部、川辺地域それぞれの環境や資源を生かした、均衡ある発展が図られるよう努められたい。